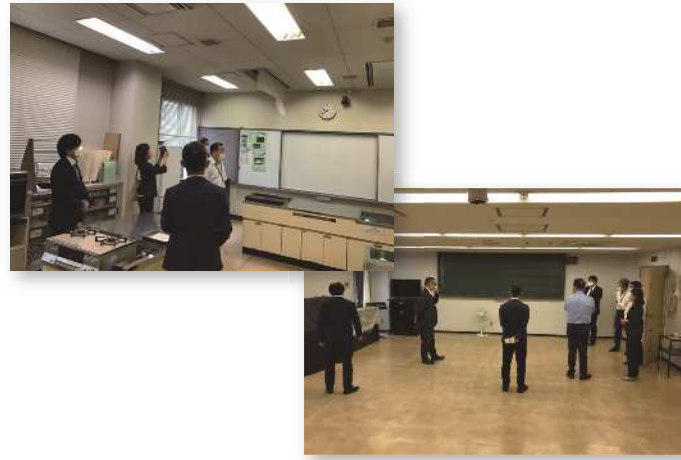


総務委員会が市内公共施設を視察

令和4年10月5日に、老朽化が進む市内の公共施設の現状を把握するため、心身障害者福祉センターと東部福祉センターを視察しました。福祉作業所が入居するなど、多くの障害者が利用する心身障害者福祉センターでは、重度心身障害のある利用が増えるなど、建設当時とはニーズが変化していることを確認しました。一方、建設から50年近くが経過している東部福祉センターでは、各設備の故障など、毎年多額の修繕費用が発生していること、一部の部屋では雨漏りが発生していることなど、着実に老朽化が進んでいる状況を確認しました。



文教・建設委員会が戸田市サイクリング連盟との議会懇談会を開催



令和4年10月21日に、自転車のまちづくりについて、市内の現状や課題を把握するため、戸田市サイクリング連盟の方々と懇談を行いました。参加者からは、彩湖・道満グリーンパーク内でスピードを出して走行している自転車の危険性や、塾などに通う子供たちの夜間の自転車走行の安全確保が課題として挙げられました。これらに対し、自転車利用者へのさらなるルール・マナーの周知啓発の重要性や、中学生にバックライトを配付してはどうかなど、課題解決に向けた積極的な意見交換を行いました。

議会モニターとの意見交換会を開催

令和4年12月6日に、市民の皆様からのご意見を広く聴き、議会運営に取り入れるために任命している議会モニターと、正副議長・議会運営委員長・議会改革委員長・議会広報委員長による意見交換会を開催しました。モニターからは、議会だよりの記載の改善点や議会モニターの応募者数の増加に向けた取り組みなど、多岐にわたる内容について、活発に意見交換を行いました。



リバプール市とオンラインで交流



1992年10月に締結した、オーストラリアのリバプール市との姉妹都市提携が30周年を迎えたことを記念し、令和4年10月20日に、オンラインによる記念式典が開催されました。議会からは、議長をはじめ4人の議員が参加し、両国の新型コロナウイルスの感染状況などについて懇談を行いました。また、記念品として、リバプール市からは陶芸作品が、本市からは七宝焼きが贈られました。



リバプール市（左）と本市（右）からの記念品

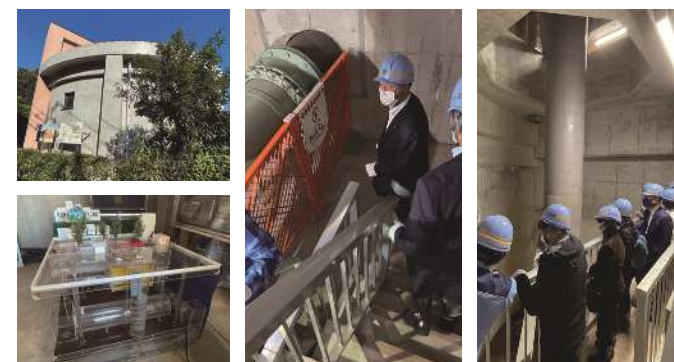
月イチオンラインミーティングを導入

本市議会では、平成30年の全議員へのタブレット貸与を皮切りに、議会のICT化・オンライン化を進めてきました。今後、各種会議のさらなるオンライン化を見据え、オンライン会議の定期的な開催機会を設けることと、議員と議会事務局との情報共有を密にすることを目的に、毎月一回のオンラインミーティングを10月から導入することとしました。



進行は議席番号順で議員が務めます

雨水貯留施設の先進事例を見学



大雨時の浸水対策として、本市でも北大通りでの工事が進められている雨水貯留施設についての理解を深めるため、杉並区にある「和田弥生幹線」を見学しました。「和田弥生幹線」では、地下50mに直径8.5mの雨水貯留管が約2.2kmにわたって埋設されており、最大約15万㎡の雨水（学校のプール500杯分）をためることが可能で、設置後、令和元年の台風第19号でもその効果を発揮するなど、周辺地域の浸水被害が激減しています。見学では、施設の仕組みや効果について、資料や模型を使っての説明を受けた他、地下14階まで階段で降り、雨水貯留管の内部を見学しました。

